Ｒ４　中部教育事務所　授業改善に係る重点取組

学校は・・・

単元構想・教材研究

① 学習指導要領や各校の方針や計画を基に、本単元で育成する「資質・能力」を明確にする。

② ①で確認した「資質・能力」が身に付いた児童・生徒の姿（≒評価規準）を想定する。

③ 単元の学習の中で、「資質・能力」が身に付く方向に向かっているか、最終的に身に付いたかどうかを把握するための児童・生徒による「振り返り」の場面を計画する。

④ ①～③を意識した1時間ごとの授業展開を考える。

授業・到達状況を把握

① 授業の終盤で、「振り返り」や「振り返りの共有」を行う。

② 「振り返り」から、個別の学習状況や到達状況（学習意欲・思考の働かせ方、つまずきや伸び）を把握する。

授業改善等に活用

○ 到達等の状況に応じて、次時の展開の見直しや個別の手立てについて、整理する。

目指す姿

★各教科等の単元で育成する資質・能力を着実に育む中部の学校

「振り返り」を活用した授業改善を通して

支援要請

指導・助言

現状

★学校が組織的に教育活動を行うようになってきた。
★検証・改善サイクルが、軌道に乗っている学校とそうでない学校がある。
★検証の機会が、各種学力・体力調査等のみになっている学校がある。
★厳しい学校状況等により、効果的な改善策を見出しにくい学校がある。

中部教育事務所は・・・

主事は・・・

学校訪問や各種研修会、指導事務担当者会等の際に、次のことを具体例を交えて伝える。

① 「振り返り」の必要性や期待される効果、活用法について

② 成果と効率の両方を念頭に置いた単元構想、教材研究の手順について

③ 「振り返り」の児童・生徒への指導の具体、また、「振り返り」の見取り方や次時以降の授業や補充学習への生かし方について

ＡＤは・・・

授業改善に係る取組の聞き取りの際に、次のことを聞き取り指導する。

① 授業改善が組織的な取組になっているか。その際、「振り返り」の活用に取り組んでいるか。取り組まない場合、その代案は何か。

② ノートチェックをするなどの進捗管理のシステムを整えているか。

所長は・・・

① 主事やＡＤからの報告、研修の参観等を通じて状況把握

② 学校訪問での追加指導